役に立つ、売れるロボットづくり

～先端産業創造プロジェクト～

平成27年7月7日

埼玉県産業労働部産業支援課

先端産業創造プロジェクト

大学・研究機関等の先端的な研究シーズと企業の優れた技術を融合させ、実用化・製品化や事業化を支援することによって、県内に先端産業を育成し、その集積を目指す。

※ Ｈ２７年度予算　１８億７千万円
（Ｈ２６年度予算　　９億５千万円）

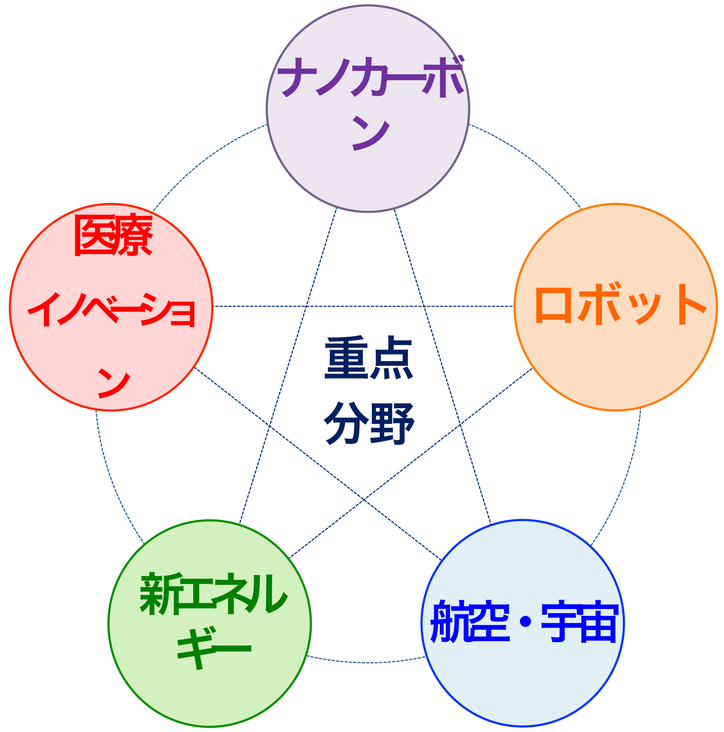
ステップ１
実用化開発

ステップ２
製品化開発

ステップ３
事 業 化

ステップ４
県内集積

助言 評価	先端産業 研究サロン
技術 支援	産総研・NEDO・ 埼玉県の三者協定
開発 資金	産業振興・雇用 機会創出基金
融資	地元金融機関
集積 用地	県企業局 民間ﾃﾞｨﾍﾞﾛｯﾊﾟｰ



主 な 取 組 内 容

- ◆ 人材・技術・情報の結集
- ◆ 産学連携による研究開発プロジェクト
- ◆ 企業等による主体的な研究開発の支援
- ◆ 企業支援のための環境整備

役に立つ、売れるロボットづくり
～ロボットプロジェクト～

1　アイデア勝負！

ロボットアイデアソンの開催（第1回:H26.5　第2回:H26.8）

◆ 研究者や学生、主婦などが商品化に有望なアイデアを出し合う参加型イベントを開催

2　ニーズの発掘！

県内全産業分野のロボット導入ニーズ調査（H26.11）

◆ 第１～３次産業、県内３２００社・団体に、ロボットの導入ニーズや期待する業務を調査

3　参入のいろはを学ぶ！

ロボットアカデミーの開催調査（H26.10～H27.3終了）

◆ ロボット開発の最新動向等に関するセミナー・懇親会、視察等を開催

◆ 平成26年度 全４回開催　延べ２０４社・機関

4　ユーザーニーズのあるロボットの企画づくり

埼玉ロボットニーズ研究会の運営（H27.2～）

◆メーカー、大学･研究機関に加え、導入に興味のあるユーザー、情報や資金のある金融機関等が参画

◆ 現地調査、導入ニーズの探索、企画づくり

役に立つ、売れるロボットづくり
～ロボットプロジェクト～

5　ロボット開発

(1) 産学連携によるロボット開発への助成(H26～)

- 大学と企業が連携したロボット開発を助成
  - ◆ 埼玉大、電機大、東洋大、千葉工大、県立大等

(2) 企業等への助成(H27)

① 新規参入トライアルを支援

- 市場調査、設計委託、試作等を助成
  - ◆ 補助率10/10　上限１００万円　30件程度

② 新技術・製品化を本格支援

- 企業等が主体の開発を助成
  - ◆ 補助率10/10　上限2,０００万円　3件程度

③ 試作品モニタリング調査等への助成

- 開発したロボットのモニタリング調査等の支援
  - ◆ 補助率1/2　上限３００万円　5件程度

(3) SAITECによるロボット開発(H27～H29)

- 県産業技術総合センター(SAITEC)が中心となり、企業と連携してロボットを開発

6　実証フィールドの提供

ロボット実証フィールドの開設（H27.1～）

- ◆ 試作ロボットの実証試験の場(旧県立毛呂山高校)を無料で提供
- ◆ ダム湖、河川、橋りょう、山林等も提供

7　ビジネス創出の場づくり

(1) ロボットビジネス交流会の開催(H27.7.24～)

- 企業や大学、金融機関、支援機関等が集まり、技術やビジネスモデル、支援制度等の情報を交換し合いながら、ビジネスパートナーの獲得に繋げる交流会

(2) ロボットSAITAMA2015の開催(H27.11.3)

- 目的：ロボット普及に向けた一般ユーザーの開拓
- 概要：社会や暮らしに役立つロボットに親しみ理解を深めるよう、様々なロボットの展示紹介やコンテストを開催 @ ウェスタ川越